



写真:手塚 一之

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

72・73形横浜線

◆実車ガイド

- ・72・73形は都市圏での通勤輸送用として登場した4ドアの電車で、京浜東北線など都市部の混雑路線へ投入されましたが、101・103系の登場以降は首都圏近郊や地方の電化ローカル線に転用されていきました
- ・八王子と東神奈川を結ぶ横浜線では首都圏における同形活躍の最晩年にあたる1979年まで同形が使用され、基本の4両編成のほかラッシュ時を中心に3両編成の付属編成を増結した7両編成で走行していました
- ・1970年頃より3段窓を装備する車両の一部でアルミサッシ化や内装の更新などのアコモ改善工事が施行されましたが、京浜東北線・山手線からの103系の転属により置き換えられ、1979年までに全車引退しました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

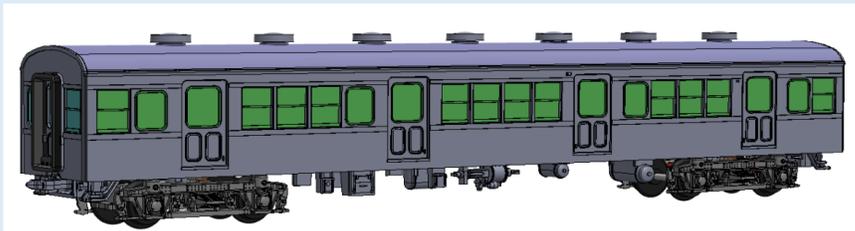
<共通>

- ・ハイグレード(HG)仕様
- ・<97211>と<97212>で横浜線の7両編成を再現可能
- ・Hゴムはグレーで再現
- ・<97211>のクモハ73-600・サハ78形、<97212>のモハ72-920・クハ79-920のベンチレーターは取り付け済み、クモハ73近代化改造車は旧型・新型選択式
- ・避雷器は取り付け済み
- ・ヘッド・テールライト、前面表示部は電球色LEDによる点灯
- ・前面表示部はカラープリズムにより白色に近い色で点灯
- ・ヘッド・テールライト、運行番号表示部は常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- ・配管付き密連形TNカプラー(SP)装備
- ・先頭車運転台側は胴受けの小さいTNカプラーを採用
- ・車番は選択式で転写シート付属
- ・新集電システム、黒色車輪採用
- ・<97211>について
- ・サハ78はアルミサッシ2段窓となったアコモ改善車を新規製作で再現
- ・クモハ73のうち奇数車は近代化改造車で方向幕を装備し前面に空気作用管のない車両を、偶数車は600番代のアコモ改善車を再現
- ・クモハ73 600形はDT17形台車装備の姿を再現
- ・運行番号表示部は印刷済みパーツ選択式で「八王子・原町田・東神奈川・磯子」付属
- ・M-13モーター採用
- ・<97212>について
- ・クモハ73は近代化改造車のうち、方向幕を備え前面に空気作用管のない車両を再現
- ・モハ72・クハ79は全金車の920番代を再現
- ・<98377>との組み合わせにより京浜東北線で見られた8両編成を再現可能
- ・前面表示部は印刷済みパーツ選択式で「大宮・蒲田・八王子・原町田・東神奈川・磯子」付属
- ・前面サボは「大宮・蒲田・八王子・原町田・磯子・東神奈川⇄八王子」付属、<98377>と組み合わせる際などに使用可能

◆ここがポイント

POINT:1

サハ78はアコモ改善車を新規製作で再現!



画像は試作、開発中のものです 実際の製品仕様とは異なる場合があります

並べて楽しめる車両



橋本駅で接続する相模線で活躍
キハ30・35



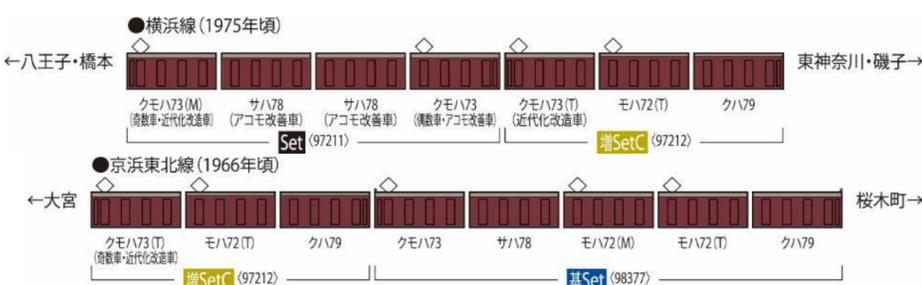
京浜東北線や根岸線で活躍
103系スカイブルー



根岸線の貨物列車で活躍
DD13-300・タキ3000

<別売りオプション>
室内灯:<0733>LC白色

■セット内容・編成例



<98377>国鉄72・73形通勤電車基本セットを同時期再生産!

<98377>と<97212>増結セットCを組み合わせることで、京浜東北線の近代化改造車や全金車が混在する編成を再現可能です
また<97211>やお手持ちの72・73形編成の各車両と差し替えて、さまざまな形態が混在する編成をイメージして楽しむのもオススメ!

品番	97211	品名	国鉄72・73形通勤電車(横浜線)セット	セット両数	4両
発売月	2025年8月	JANコード	4543736972112	予価	¥23,430 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース
品番	97212	品名	国鉄72・73形通勤電車増結セットC	セット両数	3両
発売月	2025年8月	JANコード	4543736972129	予価	¥15,950 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース
品番	98377	品名	国鉄72・73形通勤電車基本セット	セット両数	5両
発売月	2025年8月	JANコード	4543736983774	再生産	¥22,110 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース